

# 令和3年度当初予算案

## 「新型コロナ封じ込め加速予算」

## 「新たな未来構築予算」



令和3年2月8日(月)

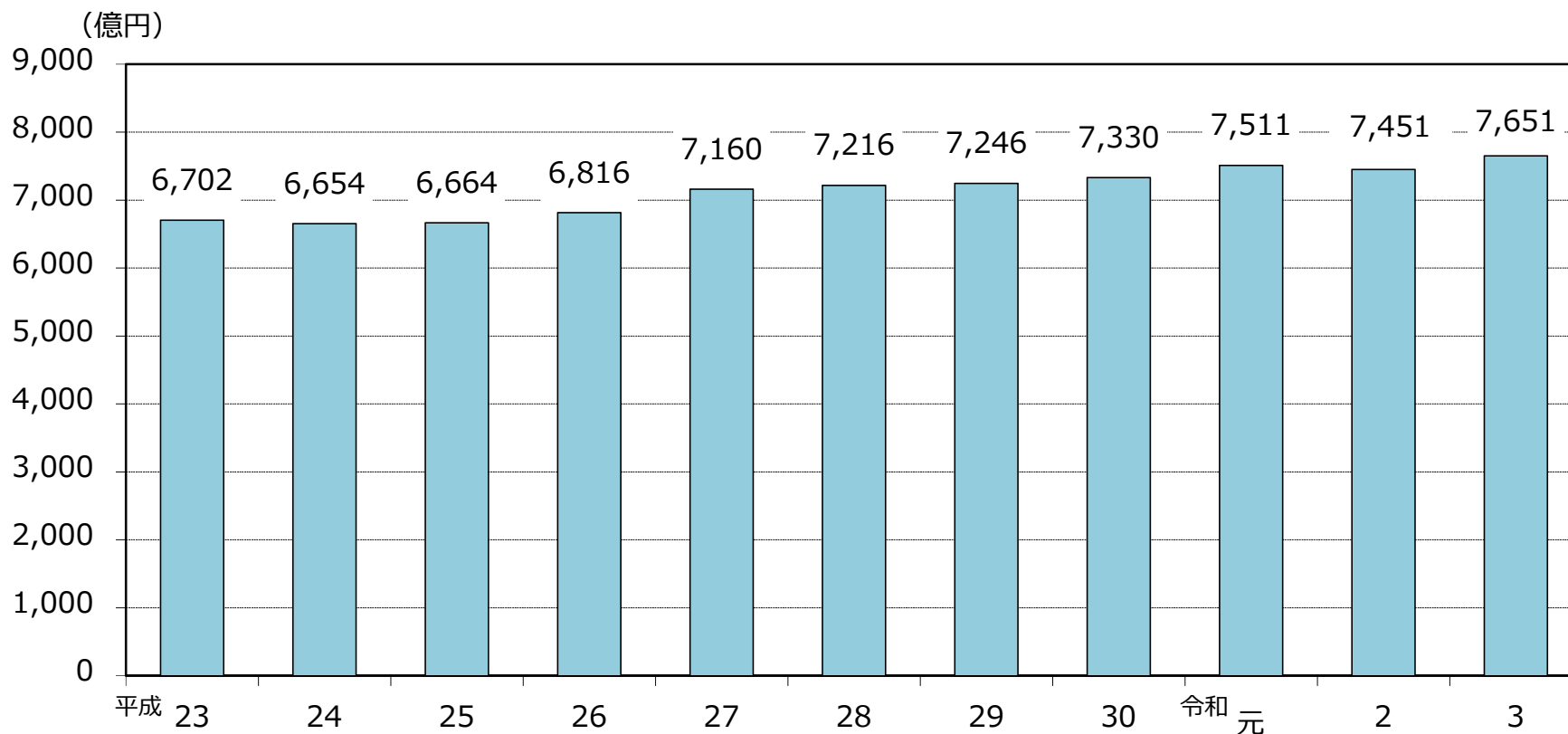


SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

# 予算規模

総額 7,650億7,700万円 +2.7%

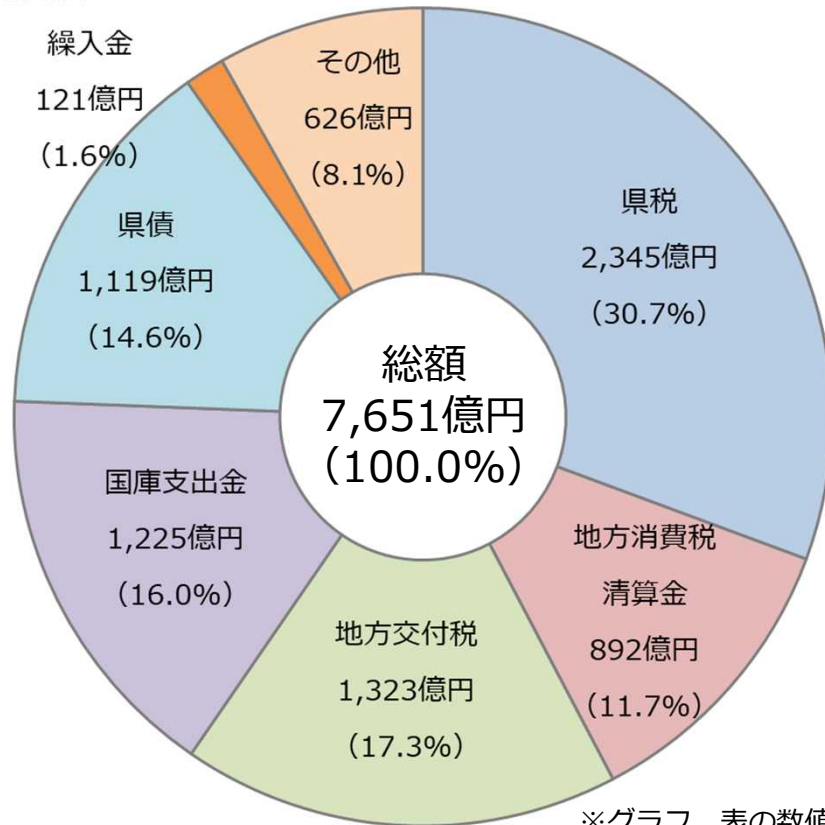
- ・ 税収が減少する一方、新型コロナウイルス感染症対策経費の大幅な増加により、前年度に比べて+200億円の増。
- ・ 制度融資を特別会計に移管した平成20年度以降では、最大の予算規模。



# 歳入の状況

- ・ 県税や地方消費税清算金は、新型コロナウイルス感染症による影響などにより大幅に減少。
- ・ 臨時財政対策債の増により、県債は大きく増加。
- ・ コロナウイルス感染症対策などの歳出増に対応するため、財源対策としての基金繰入金は増加。

財政調整基金



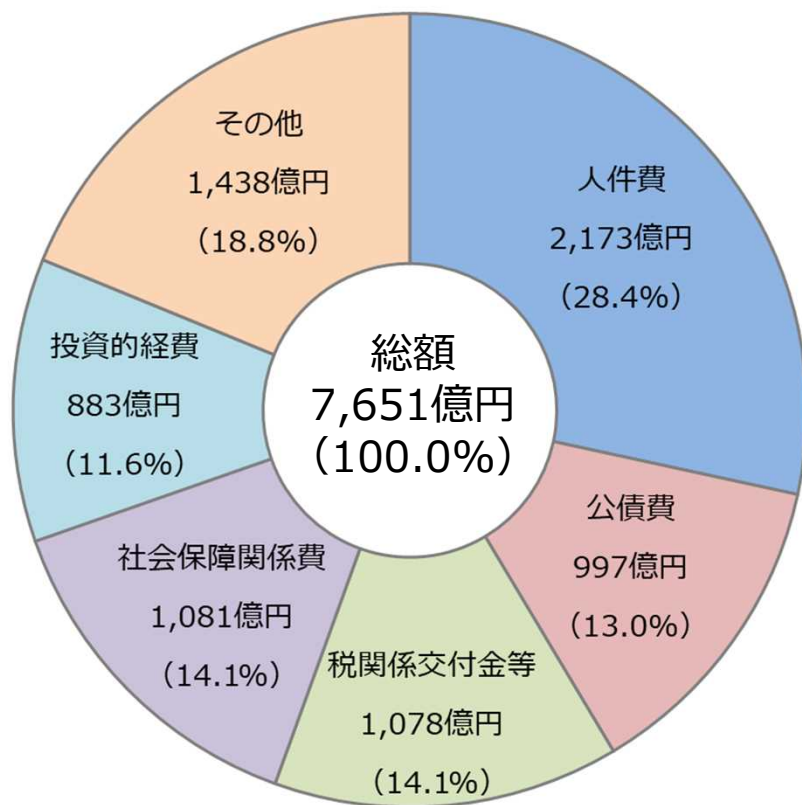
(単位：億円)

区分	R 3	R 2	対前年比較	
			増減額	増減比率
県税	2,345	2,465	▲ 120	▲4.9%
地方消費税清算金	892	1,021	▲ 129	▲12.7%
地方交付税	1,323	1,309	14	1.1%
国庫支出金	1,225	840	385	45.8%
県債	1,119	965	154	15.9%
臨時財政対策債	650	380	270	71.1%
減収補てん債		40	▲ 40	皆減
退職手当債	30	30	—	—
行政改革推進債	40	40	—	—
その他の県債	399	475	▲ 76	▲16.1%
基金繰入金 (財源対策)	121	53	68	128.3%
財政調整基金	121	26	95	365.4%
地域振興基金		11	▲ 11	皆減
地域福祉基金		16	▲ 16	皆減
その他	626	797	▲ 172	▲21.5%
合計	7,651	7,451	200	2.7%

※グラフ、表の数値は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。

# 歳出の状況

- ・ 税収の減少に伴い、税関係交付金等は大きく減少。
- ・ その他の増は新型コロナウイルス感染症対策経費の大幅な増加に伴うもの。
- ・ 社会保障関係費は、少子高齢化を反映し、引き続き増加。



(単位：億円)

区分	R3	R2		
			増減額	増減比率
人件費	2,173	2,196	▲ 23	▲ 1.1%
公債費	997	1,002	▲ 5	▲ 0.5%
税関係交付金等	1,078	1,165	▲ 87	▲ 7.5%
社会保障関係費	1,081	1,069	▲ 13	▲ 1.2%
投資的経費	883	974	▲ 91	▲ 9.3%
県有施設等長寿命化	35	35	—	—
公共事業	754	806	▲ 52	▲ 6.5%
補助公共	551	600	▲ 50	▲ 8.3%
補助事業	340	307	▲ 33	▲ 10.8%
交付金事業	211	294	▲ 83	▲ 28.2%
単独公共	203	206	▲ 3	▲ 1.3%
その他の投資的経費	94	133	▲ 38	▲ 28.9%
その他	1,438	1,045	▲ 394	▲ 37.7%
<b>合計</b>	<b>7,651</b>	<b>7,451</b>	<b>200</b>	<b>2.7%</b>

※グラフ、表の数値は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。

# 重点施策

- ・まずは、**コロナとの長期戦**を戦い抜く。
- ・同時に、昨年12月に策定した**新・総合計画のビジョン**で描いた20年後の未来を実現するための取組も進める。
- ・災害等に備え、将来世代の県民の幸福にもリソースを振り向けるため、**財政運営の持続可能性**も高める。



1. コロナとの長期戦を戦い抜く

2. ニューノーマルの早期実現 ～DXの集中的な推進と防災・医療体制の強化～

3. 「100年続く自立した群馬」の実現 ～「始動人」の育成とSDGsの推進～

4. 新たな富や価値の創出

5. 財政の健全性の確保

## コロナとの長期戦を戦い抜く

### 医療・検査体制の充実

#### ● 医療提供体制の確保 34,155百万円

新規感染者の増加に十分対応できるよう必要な受入病床の確保や、受入医療機関への支援など医療提供体制を整備。

- ・ 受入医療機関等確保 28,822百万円
- ・ 軽症者等療養場所確保・運営 2,188百万円  
(ほか)

#### ● 相談・検査体制の充実 4,211百万円

必要な方が、より速やかに診療や検査を受けられるよう相談・診療・検査体制を拡充。

- ・ 受診・相談センター運営 376百万円
- ・ 地域外来・検査センター（PCRセンター）運営 449百万円
- ・ PCR検査等の実施 3,353百万円  
(ほか)

#### ● ワクチン接種の円滑な実施 56百万円

国、市町村及び関係機関と連携し、新型コロナウイルスワクチン接種体制の整備や流通対応を行う。



県病院間調整センターとして入院調整を担う  
前橋赤十字病院



ワクチン接種の円滑な実施

# コロナとの長期戦を戦い抜く

## 感染拡大防止対策

### ● 感染防止に配慮した福祉サービス提供体制の確保 487百万円

介護・障害福祉サービス事業所等が、感染防止対策を講じながら必要なサービス等を継続できる体制構築を支援。

- ・ 感染症対策を徹底した介護・障害福祉サービス提供支援 333百万円
- ・ 医療介護連携による感染症の予防・対策 22百万円
- ・ C-MAT（クラスター対策チーム）運営 16百万円  
ほか

感染症対策を徹底したサービス提供



### ● 児童養護施設等への感染症対策強化 64百万円

施設に専門家を派遣し感染防止対策の実地指導を行うとともに、感染者が発生した際の職員不足に備え、施設間の職員派遣体制を整備。

### ● コロナ禍でも安全安心な公共交通の確保 166百万円

新型コロナウイルス感染症の長期化に対応するため、「ストップコロナ!対策認定制度」の認定を受けたバス、タクシー事業者に対し、車両の飛沫感染対策及び接触感染対策の取組を支援。

# コロナとの長期戦を戦い抜く

## 経済活動への支援

### ● 企業活動の継続支援（制度融資）（融資枠総額） 2,000億円

本県経済の活力を高めるため、長期・固定金利の制度融資により、県内中小・小規模事業者の積極経営を後押しするとともに、経営の安定化を金融面から支援。

#### 【主な資金の内容】

- ・ 経営サポート資金（新型コロナウイルス感染症対策資金） 1,000億円  
新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者を引き続き支援。
- ・ デジタルトランスフォーメーション資金 20億円（新規）  
DXにより、県内中小企業者の生産性・企業付加価値の向上を図るための取組を支援。 など

### ● ストップコロナ！対策認定制度 19百万円

市町村や商工団体と連携し、各業界団体が作成したガイドライン等に基づく感染症対策を行っている事業者を応援する県独自の認定制度を継続。

### ● ニューノーマル創出支援 16百万円

「ストップコロナ！対策認定」を取得した県内中小・小規模事業者が連携して新たに行うモデル的な商業活動を支援。

ストップコロナ！対策認定制度





# ニューノーマルの早期実現

## 行政と教育のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

人口減少が進むなか、限られた人員や財源で新たな行政課題や多様化する行政ニーズへの対応等を図るため、**行政と教育のDXを集中的に実施**。

**● 県庁情報通信ネットワーク更新・運用** **534百万円**

(債務負担行為 8,232百万円)

- ・ 行政のデジタル化を推進するため、クラウド対応やセキュリティ及び通信回線速度の強化、テレワークなどの新たな働き方への対応等の機能向上に向けた更新を実施。

**● 情報システム最適化調査** **30百万円**

- ・ 庁内業務システムの調達・運用コストの節減のため、クラウドサービスへの移行可能性調査を実施。
- ・ 合わせて、各システム利用に係る業務プロセスを見直し効率化を図る。

**● 教育イノベーション推進体制構築** **4百万円**

- ・ 県内公立学校における教育のデジタル化の牽引役として、教育委員会事務局に「デジタル教育推進室」を新設し、ICTを活用した教育を推進。

**● ICT活用スキル育成プロジェクト** **554百万円**

- ・ 教育事務所に「教育DX推進コーディネーター」を配置し、「デジタル教育推進室」と一体となって教育DXを推進するとともに、小中学校に「教育DX推進スタッフ」を配置し、現場を支援。
- ・ 学習支援ソフトウェアを活用し、県と連携する市町村に対して補助等を行う。 など

**● 県議会電子化推進** **15百万円**

- ・ オンライン会議や資料のペーパーレス化に対応するため、タブレット端末やソフトウェアなどを整備。

## ニューノーマルの早期実現

### 防災・減災対策

「**災害レジリエンスNo.1**」の実現に向け、令和2年度からの5か年で緊急的かつ重点的に防災・減災対策を推進。

#### 【ハード対策】

#### ● 水害対策 4,292百万円

- 令和元年東日本台風により溢れた河川の堤防嵩上げ
- 社会経済の壊滅的な被害を回避する河川整備
- 河川やダム機能の維持・回復



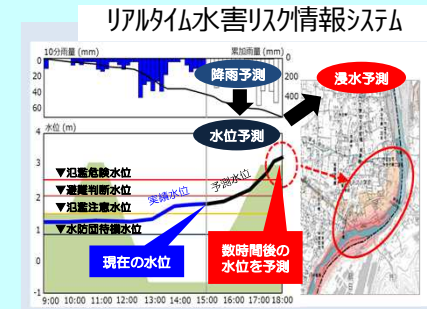
#### ● 土砂災害・道路防災・農地防災対策 24,501百万円

- 土砂災害リスクを軽減させる防災インフラ整備
- 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築
- ため池の決壊による下流域への被害の軽減

#### 【ソフト対策】

#### ● 水害対策 581百万円

- リアルタイム水害リスク情報システムの構築
- 要配慮者利用施設の避難確保計画の策定支援
- マイ・タイムラインの作成支援



#### ● 土砂災害・農地防災対策 150百万円

- 要配慮者利用施設の避難確保計画の策定支援
- 住民主体の防災マップの作成支援
- ため池のハザードマップ作成支援



#### ● 危機管理センター オペレーションルームの整備 170百万円

- 災害発生時に関係機関が結集し対応業務を行うために必要な機能を県庁舎内に常設するための整備を行い、激甚化・頻発化する自然災害等に迅速的確に対応。



# ニューノーマルの早期実現

医師確保に向けた取組

535百万円

遠隔医療連携推進 39百万円

**ドクターズカムホームプロジェクト（DCHP）を推進**し、強力に若手医師の確保等に取り組むとともに、医師の働き方改革を推進。

● **研修医確保・医師の県内定着と偏在解消 366百万円**

- ・ 県外医学部生の病院見学費用助成
- ・ 臨床研修病院PR動画作成
- ・ 医師確保オンライン説明会の実施
- ・ 医学生修学資金貸与（ほか）

● **診療科偏在対策 61百万円**

- ・ 医師確保修学研修資金貸与（ほか）

● **男女を問わず医師が働き続けやすい環境づくり**

**108百万円**

- ・ 労働時間短縮に向けた取組を実施する医療機関への補助など

県内における遠隔医療を推進し、オンライン診療等を含めた**ウィズコロナ・ポストコロナの医療提供体制構築**を目指すため、へき地診療所・過疎地域医療機関への情報通信機器の購入費等補助や、オンライン診療に関するセミナー開催等を実施。

## ぐんまでテレワーク等推進

テレワークやワーケーション等**ニューノーマルに対応した働き方を推進**。

● **ぐんまでテレワーク推進プロジェクト 5百万円**

- ・ テレワーク関連施設のサイト作成やモニターツアー等を実施。

● **新しい働き方実現プロジェクト 9百万円**

- ・ テレワーク等を活用した新しい働き方の実現に向けたワークショップ等を実施。

● **ツーリズムイノベーション（後掲） 61百万円**



# 「100年続く自立した群馬」の実現

## 官民共創コミュニティの推進

県庁32階に整備した、**官民共創スペース「NETSUGEN」**と**動画・放送スタジオ「tsulunos」**を積極的に活用して、イノベーションを創出していく。

【主な関連事業】

- **官民共創スペース「NETSUGEN」の運営・活用** **61百万円**
- **地域課題解決プロジェクト** **35百万円**
  - ・地域課題解決のための事業者との実証事業を実施。
- **官民共創コミュニティ育成** **14百万円**
  - ・地域別未来ビジョン策定ワークショップや講演会の開催
- **アーティスティックGUNMA** **58百万円**
  - ・県庁32階を会場にしたオークションの開催やアーティストと経済人との異業種交流などにより、アートによる地域振興を図る。

## 「官民共創コミュニティ」

多様な県民、企業、研究機関、NPO等が集まり、課題解決のアイデアやイノベーションを共に創り出し実行するコミュニティ。



# 「100年続く自立した群馬」の実現

## 教育イノベーション

新たな時代を切り拓く「**始動人**」育成のため、**教育の在り方を改革・創造**していく。

【主な関連事業】

### ● **ニューノーマル GUNMA CLASS PJ 979百万円**

- ・ 県独自に小1～中3の全学年で少人数学級編制を導入し、ICTを活用した新しい学びと感染症対策を実施。  
※小5、小6、中2、中3を新たに対象学年に追加。

### ● **STEAM教育推進プロジェクト 17百万円**

- ・ 地域資源を活用し、県民生活の課題を考える探究型プログラムや中高生向けワークショップなどを実施。

### ● **ICTリテラシー向上プロジェクト 10百万円**

- ・ 選択肢を選びながらゲーム感覚で学習できる教材の開発を行う。

### ● **教育イノベーション推進体制構築（再掲）**

**4百万円**

### ● **ICT活用スキル育成プロジェクト（再掲）**

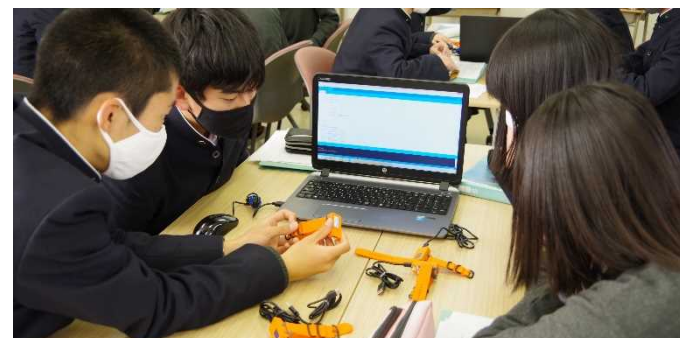
**554百万円**

教育イノベーション（1人1台PCの授業風景）（高山小学校）



## 「STEAM教育」

「Science」、「Technology」、  
「Engineering」、「Art」、  
「Mathematics」のそれぞれの頭文字を  
とった新しい教育理念。実社会での課題解決  
に活かしていくための教科横断的な教育手法。



STEAM教育の授業風景（吾妻中央高校）

# 「100年続く自立した群馬」の実現

## 「ぐんま5つのゼロ宣言」の実現とSDGsの推進

【主な関連事業】

● **防災・減災対策の集中的な実施（再掲）**

● **「ぐんま再生可能エネルギープロジェクト」の推進**

266百万円

- ・住宅用太陽光発電設備等導入資金融資
- ・革新的環境イノベーションコンソーシアム など

● **ぐんまゼロ宣言住宅促進（後掲）**

106百万円

● **水素エネルギー活用調査研究**

33百万円

- ・水素エネルギーを活用した電力供給システムの構築に向け、水素製造・貯蔵・利用システムの実証試験を視野に入れた具体的な調査研究を委託。

● **プラスチックごみ「ゼロ」推進 10百万円**

- ・海岸漂着物対策計画策定

● **食品ロス「ゼロ」推進 11百万円**

- ・ドギーバッグ導入モデル事業
- ・フードバンク活動支援 など

● **産業分野におけるSDGsの推進 5百万円**

- ・SDGs ビジネスマッチング
- ・SDGs コーチングプログラム など

2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」

宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

宣言3 災害時の停電 「ゼロ」

宣言4 プラスチックごみ 「ゼロ」

宣言5 食品ロス 「ゼロ」



# 「100年続く自立した群馬」の実現

多文化共生・共創県ぐんま推進 4百万円

日本人と外国人とが力を合わせて、誰もが幸福を感じることでできる社会の実現に向けて、各種啓発事業を実施していく。

● **多文化共創カンパニー認証制度創設 2百万円**

- ・外国人との共創を先進的に実践する県内企業の取組を認証し、国内外に発信。

● **多文化共生・共創推進基本計画策定、啓発 2百万円**

- ・多文化共生・共創社会の実現に向けた計画を策定するとともに、多言語、メディアミックスによる周知啓発を実施。

**群馬県多文化共生・共創推進条例案**  
(令和3年第1回定例県議会提出予定)

- 「仲間」である外国人と多様性を活かしながら、新たな価値を創り出し、地域に活力をもたらす「多文化共創」について、自治体として初めて条例に規定し推進。

児童虐待防止条例推進 130百万円

児童虐待防止への取組を総合的に推進。

● **虐待を受けた子どもの受け皿確保 111百万円**

- ・リクレーターにより里親制度の普及啓発を行うとともに、児童養護施設等の改修を行う。

● **子どもの権利擁護 10百万円**

- ・子どもの死因究明体制整備モデル事業

● **児童虐待への対応等強化 9百万円**

- ・虐待再発予防ガイドラインの作成、研修の実施など

**群馬県虐待から子どもの生命と権利を  
県民全体で守る条例案**  
(令和3年第1回定例県議会提出予定)

- 本県独自の取組として以下の内容を規定
  - ・虐待が発生した場合は、必要に応じて親権制限に踏み切ることを明記。
  - ・虐待通告を受けた場合に、24時間以内に子どもの安全確認を行う

# 新たな富や価値の創出

### ぐんまちゃんのブランド力強化

329百万円

「ぐんまちゃん」を世界中で認知度の高い「人気キャラクター」に成長させる。

認知度の高さを活用し、県全体の利益向上と、県民の郷土愛の醸成を図る。

● **ぐんまちゃんのアニメ化** **163百万円**

・令和3年度中のテレビ放映を目指す。

● **全国プロモーション、キャラバン隊** **113百万円**

・他県キャラクター訪問やぐんまちゃんお誕生日会開催など。

● **国内外のライセンス管理(商標権・利用許諾) ほか**

**53百万円**



ぐんまちゃんのインスタライブ

### ロケ誘致強化のための地域プロデュース

35百万円

ロケ誘致強化のため、県内ロケ地等の開拓、ロケ地PV制作、英語版サイトの構築を行う。



# 新たな富や価値の創出

### 林業振興政策の構造転換

森林・林業予算を大胆に見直し、治山・林道事業から林業・木材産業の振興へシフト。

#### ぐんまゼロ宣言住宅促進 106百万円

「温室効果ガス排出量ゼロ」を実現するため、県産木材を使用した省エネ・創エネ住宅である「ぐんまゼロ宣言住宅」の普及を目指す。

##### ● ぐんまゼロ宣言住宅供給促進支援 95百万円

- ・住宅供給事業者や製材工場が連携してゼロ宣言住宅の供給に取り組むグループに対し、県産木材の使用量に応じて12,500円/m<sup>3</sup>を支援

##### ● 広告宣伝費補助 5百万円

- ・ぐんまゼロ宣言住宅の普及に係る経費を支援
- ・補助率1/2、上限300千円

##### ● 確認検査委託等 6百万円

#### ZEB推進モデル 10百万円

「温室効果ガス排出量ゼロ」を実現するため、構造材に県産木材を使用したZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）を整備するモデル事業を実施。

#### 県産材品質向上強化対策 10百万円

県産JAS認証材の供給体制の強化を図るため、JAS認証工場に製材を納品する小規模製材工場の設備投資を支援。

# 新たな富や価値の創出

## 観光戦略の構造転換

ツーリズムイノベーション 61百万円

ニューノーマルに対応した新たな観光スタイルを構築。

● **ニューツーリズム創出支援事業 50百万円**

- ・観光需要の平準化やデジタル化など新たな観光スタイルの創出に取り組む市町村等を補助。
- ・従来の千客万来支援事業は、経過措置を講じた上で原則廃止。新たな観光スタイルの創出を重点的に支援していく。

● **新たな観光スタイルの普及など 7百万円**

- ・デジタル媒体を活用したプロモーションやニューノーマル課題解決ゼミを実施。

● **ワーケーションの推進 4百万円**

- ・県内外の企業と受入地域のマッチング支援やモニターツアーを実施。



インバウンド誘客促進 88百万円

ポストコロナのインバウンド需要のいち早い回復をめざし、情報発信を強化。

● **外国語観光情報サイト刷新 66百万円**

- ・簡体字、繁体字、タイ語のHPを刷新。

● **デジタルプロモーション 14百万円**

- ・海外オンラインメディアを活用し、情報を発信。

● **スマホ検索に対応した情報発信等 8百万円**

- ・Googleマイビジネスを活用した施設情報登録など。



# 新たな富や価値の創出

## eスポーツ推進・ゲーム依存症対策 79百万円

県内経済の活性化を促すとともに群馬のブランド力向上、始動人の育成を目指す。

【主な関連事業】

### ● U19 eスポーツ選手権2021の開催 40百万円

・次代を担う若者を対象とした大会をGメッセで開催。

### ● 全日本実況王決定戦の開催 9百万円

・eスポーツの魅力を伝える実況を競う大会を開催。

### ● eスポーツ推進の土壌づくり 8百万円

・社会人リーグ、福祉分野向けの実証事業などを実施。

### ● ゲーム依存症対策の推進 1百万円

・eスポーツ振興と両輪で、ゲーム依存に関する調査、普及啓発等の依存症対策を推進。健全にゲームを楽しむための土壌を整備。



第1回 U19 eスポーツ選手権

## プロスポーツを活用した地域活性化 4百万円

プロスポーツを核とした、地域活性化、新産業創出を推進。

### ● プロスポーツを活用した地域活性化 1百万円

・プロスポーツチームと連携し地域活性化を図るため、県庁32階官民共創スペース「NETSUGEN」を活用し、アイデアソンなどを実施。

### ● パブリックビューイングの実施 1百万円

・県庁32階やGメッセを会場にプロスポーツやオリンピックのパブリックビューイングを実施。

### ● プロスポーツ感動体験プログラム 2百万円

・県内小中学校などに、プロスポーツ選手及びコーチを派遣し、体験型の授業を実施。



プロスポーツを活用した地域活性化

## 新たな富や価値の創出

G-アナライズ&PR等 129百万円

新産業、新技術創出に向けた取り組み

県産農畜産物の魅力、価値をエビデンスベースで発信するための各種事業を実施。

- **分析機器整備・分析** **73百万円**  
 ・機能性成分の分析用機器の整備や県で実施できない分析業務を委託し実施
- **販売促進・PR等** **56百万円**  
 ・健康志向ツアーの造成や企業と連携したPR等を実施

ポストコロナ時代に対応した新産業、新技術を創出するため、各種事業を展開。

【主な関連事業】

- **湯けむりフォーラム** **30百万円**  
 ・有識者による最先端の議論やエンターテインメント等を通してアイデアやイノベーションを創出
- **ぐんまDX技術革新補助** **72百万円**  
 ・県内中小企業が行うデジタル技術を活用した製品開発・DX推進を支援。
- **スタートアップ支援** **15百万円**  
 ・スタートアップが集積し、成長できる好環境を形成するため、支援プログラムや交流事業等を実施。
- **ぐんまのクリエイティブ拠点化推進** **40百万円**  
 ・クリエイティブ人材育成のための拠点を整備するとともに、クリエイターとの交流会等を実施。
- **ニューノーマル創出支援（再掲）** **16百万円**



G-アナライズ&PR「上州地鶏」

## 財政の健全性の確保

## 事業の見直し

▲ 8.1 億円

財政の健全性の確保を図るため、計 254 件の見直しを実施。

## ＜主な見直し事業の例＞

- **在宅要援護者総合支援** ▲ 81,810 千円
  - ・市町村との役割分担等を踏まえ、介護保険制度への移行が可能な事業等は廃止。
  - ・「介護慰労金支給事業」は継続。
- **尾瀬学校、芳ヶ平湿地群環境学習** ▲ 76,056 千円
  - ・尾瀬や芳ヶ平湿地群の魅力を活かし、県内外の小中学校等が S T E A M 教育を実施するよう支援する「尾瀬サステイナブルプラン」にリニューアル。
- **企業誘致推進補助金**
  - ・現行の補助制度は来年度で終了し、今後は地域経済に高い波及効果が見込まれる案件について、企業のニーズに応じたオーダーメイド型の支援を行っていく。
- **千客万来支援** ▲ 70,000 千円
  - ・本事業は原則として廃止し、新たに「ツーリズムイノベーション」として、ニューノーマルに適合した新たな観光スタイルの創出を重点的に支援
  - ・なお、二次交通を目的とした事業は、経過措置として引き続き支援。
- **イベント・プロモーション等の手法の見直し** ▲ 62,300 千円
  - ・ニューノーマルの視点を踏まえ、オンラインを活用するなど、より少ない予算でより高い効果を上げるよう、イベント・プロモーション手法の見直しを25件実施。

# 財政の健全性の確保

## 歳入の確保

ネーミングライツの導入拡大やふるさと納税の積極的な活用など、自主財源の確保に努める。

## ネーミングライツの拡大

4 1 百万円（R 2 当初 3 9 百万円）

### ● 令和2年度から新たに2施設に導入し、計8施設にネーミングライツを導入。

- |                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| ① 正田醤油スタジアム群馬        | ⑤ SUBARUふれあいの森 赤城         |
| ② 上毛新聞敷島球場           | ⑥ カネコ種苗ぐんまフラワーパーク         |
| ③ ベイシア文化ホール          | ⑦ 関水電業敷島プール（R 2～）         |
| ④ ALSOKぐんま総合スポーツセンター | ⑧ アースケア敷島サッカー・ラグビー場（R 2～） |

### ● 更に、以下の施設について、新たに導入を検討。

- |                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| ① 群馬県庁県民駐車場      | ⑦ 敷島公園テニスコート（随時募集中）           |
| ② ふれあいスポーツプラザ    | ⑧ 観音山ファミリーパーク<br>自然の森、バーベキュー場 |
| ③ ゆうあいピック記念温水プール | ⑨ 歩道橋                         |
| ④ 馬事公苑           | ⑩ ぐんま昆虫の森                     |
| ⑤ 日本絹の里          | ⑪ ぐんま天文台                      |
| ⑥ 群馬の森           |                               |

# 財政の健全性の確保

ふるさと納税の積極的な活用

75百万円（R2当初 64百万円）

- クラウドファンディング型ふるさと納税を引き続き実施するほか、返礼品の充実などにより、より積極的にふるさと納税を募集。

① **返礼品上限額の変更**

2,000円まで → 寄附額の3割まで

② **体験型返礼品の追加**

<体験型返礼品の例>



カヌー体験（奥四万湖）



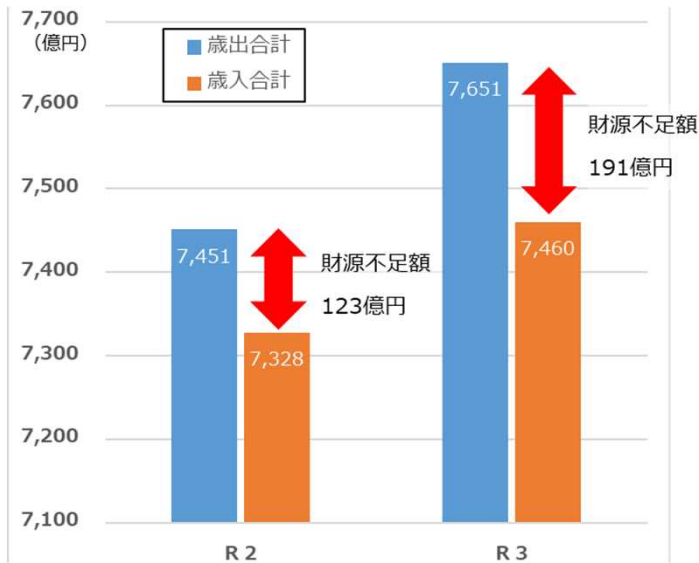
ジップライン（草津温泉スキー場）

- 企業版ふるさと納税についても、R2からの税額控除の拡大（最大約9割）等も踏まえ、引き続き、積極的な獲得を目指す。

# 財政の健全性の確保

## 財源不足への対応（財源対策）

新型コロナウイルス感染症の影響により、歳出の増加や税収の減少等が見込まれるため、財源不足額は123億円から191億円に拡大。



(単位：億円)

財源対策	R3	R2	増減
基金の取崩し	121	53	+68
うち財政調整基金	121	26	+95
うち地域福祉基金・地域振興基金		27	▲27
財源対策的な起債	70	70	±0
うち退職手当債	30	30	±0
うち行政改革推進債	40	40	±0
計	191	123	+68

### 基金残高・予備費の確保

厳しい財政状況を踏まえて事業の見直し等を行い、財政調整基金残高を24億円確保。(→P31)  
あわせて、新型コロナウイルス感染症対策のほかCSF等の不測の事態に機動的な対応が出来るようにするため、予備費を7億円を計上。(参考：R2当初予算2億円→補正予算で5億円増額)

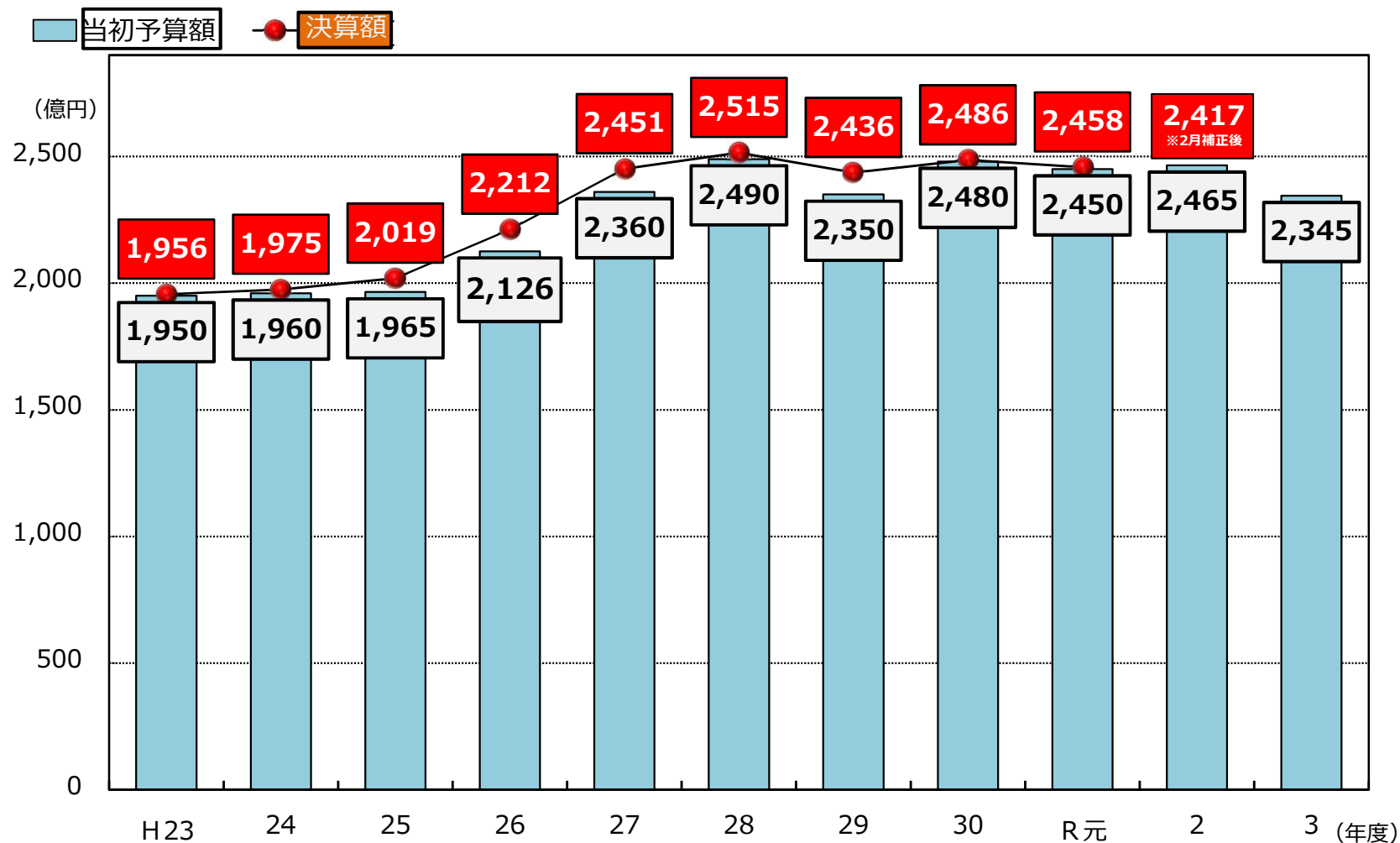
### 県債残高の縮減

県債（臨時財政対策債や減収補てん債を除く）について、発行額は▲76億円、残高は▲62億円、それぞれ削減。(→P26、27)



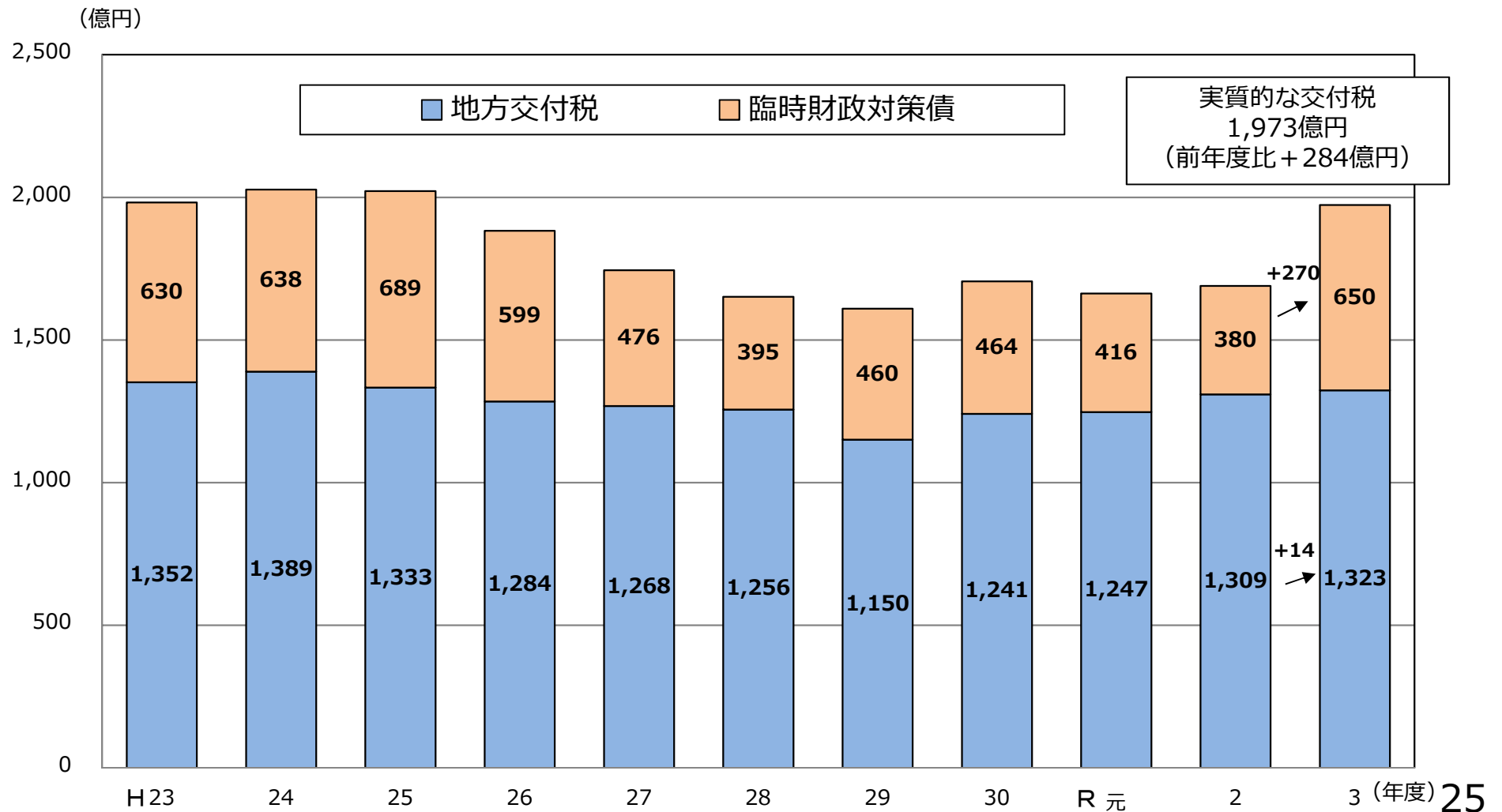
# 県税の推移

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による、消費や企業業績の落ち込みが予想されており、県税収入の減少額は▲120億円を見込む。



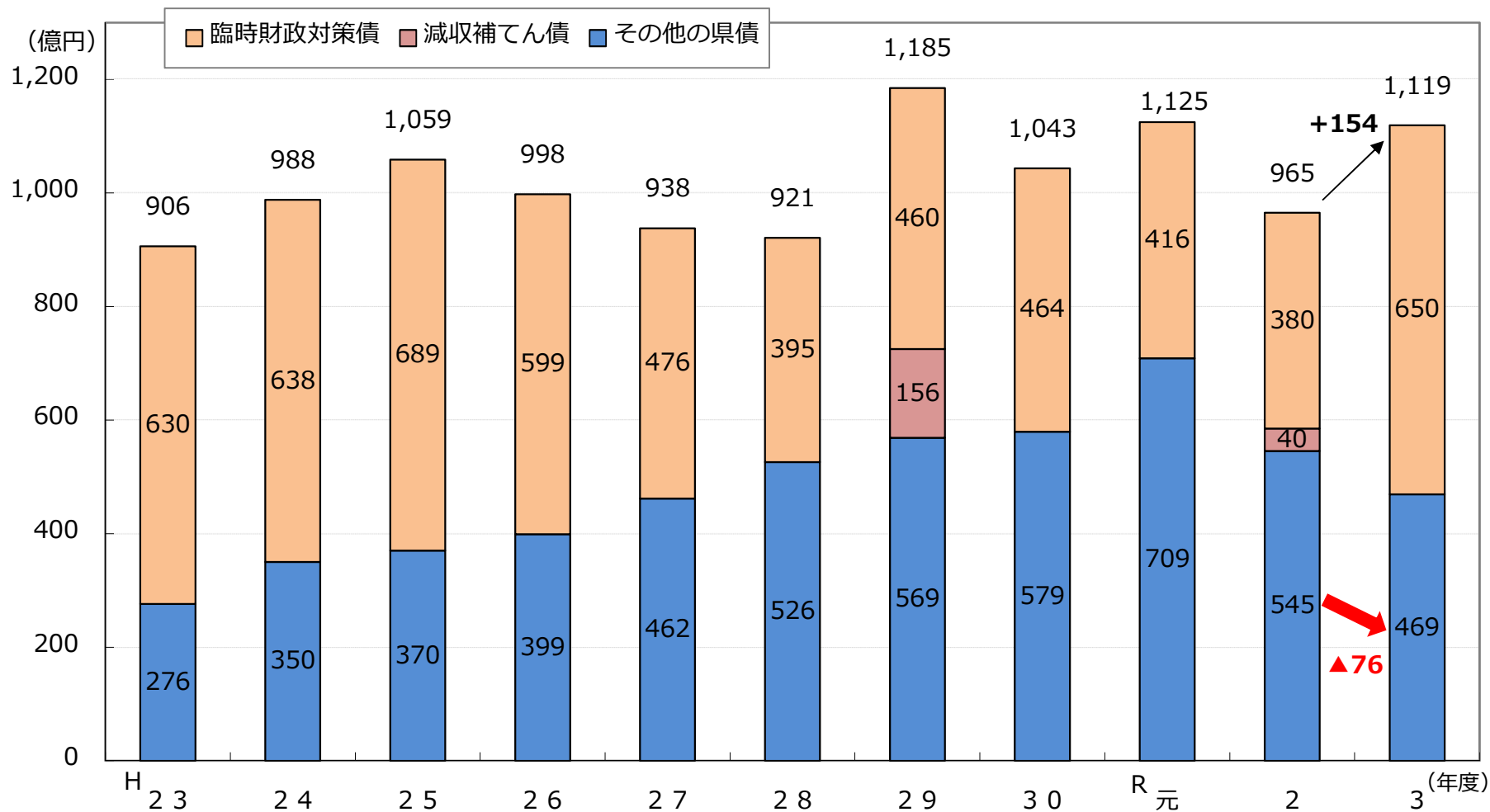
# 地方交付税等の推移

- ・国の地方財政対策を踏まえると、地方交付税と臨時財政対策債をあわせた実質的な交付税は、前年度に比べて+284億円の増。



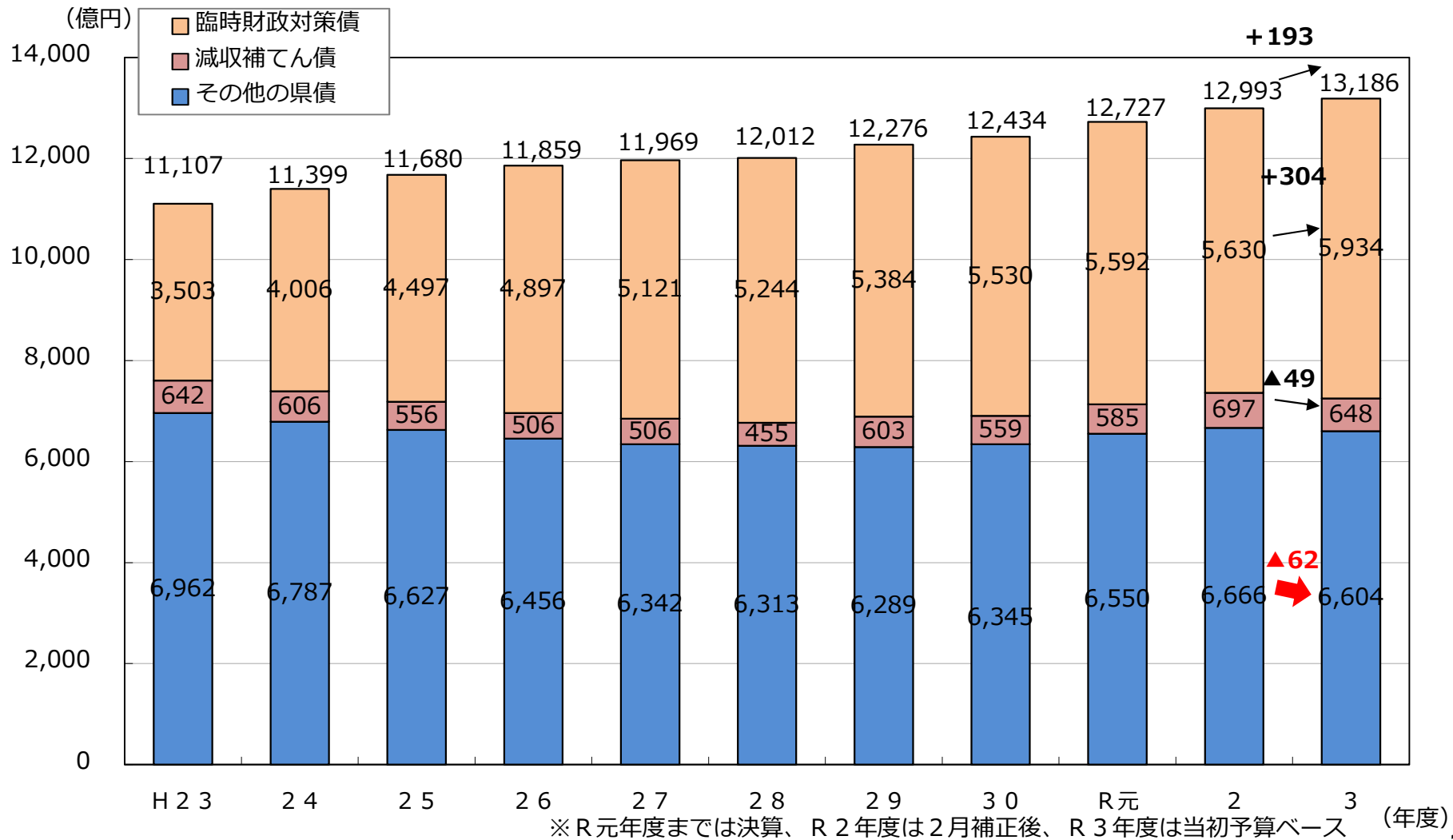
# 県債予算額（当初予算）の推移

- ・ 実質的な地方交付税である臨時財政対策債の発行により、県債予算額は前年度に比べて+154億円の増。
- ・ 厳しい財政状況を踏まえて投資的経費を抑制し、その他の県債は▲76億円の減。



# 県債残高の推移

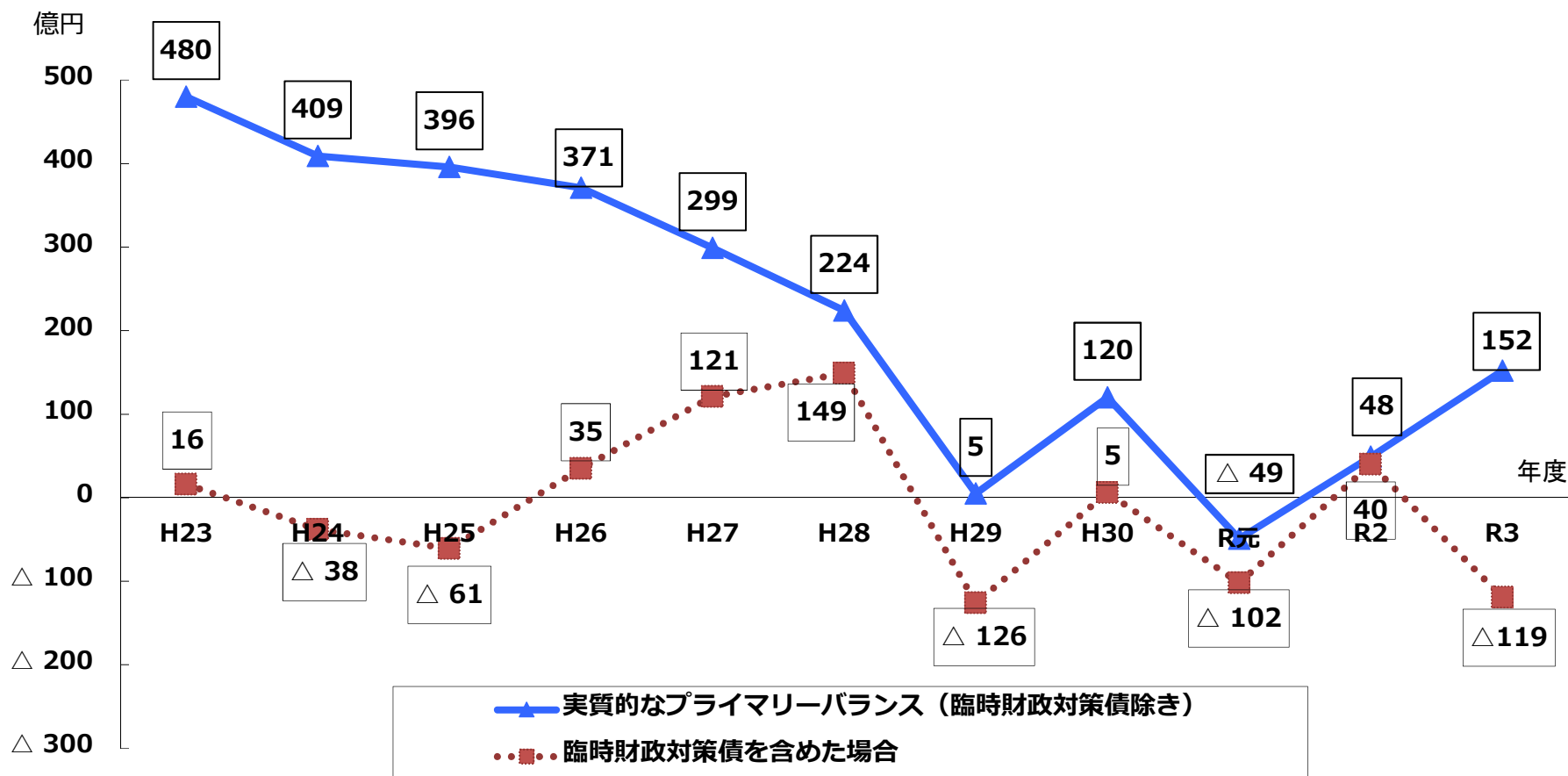
・ 厳しい財政状況を踏まえて投資的経費を抑制し、臨時財政対策債と減収補てん債を除いた県債残高（見込）は62億円の減少。



# プライマリーバランス(当初予算)の推移

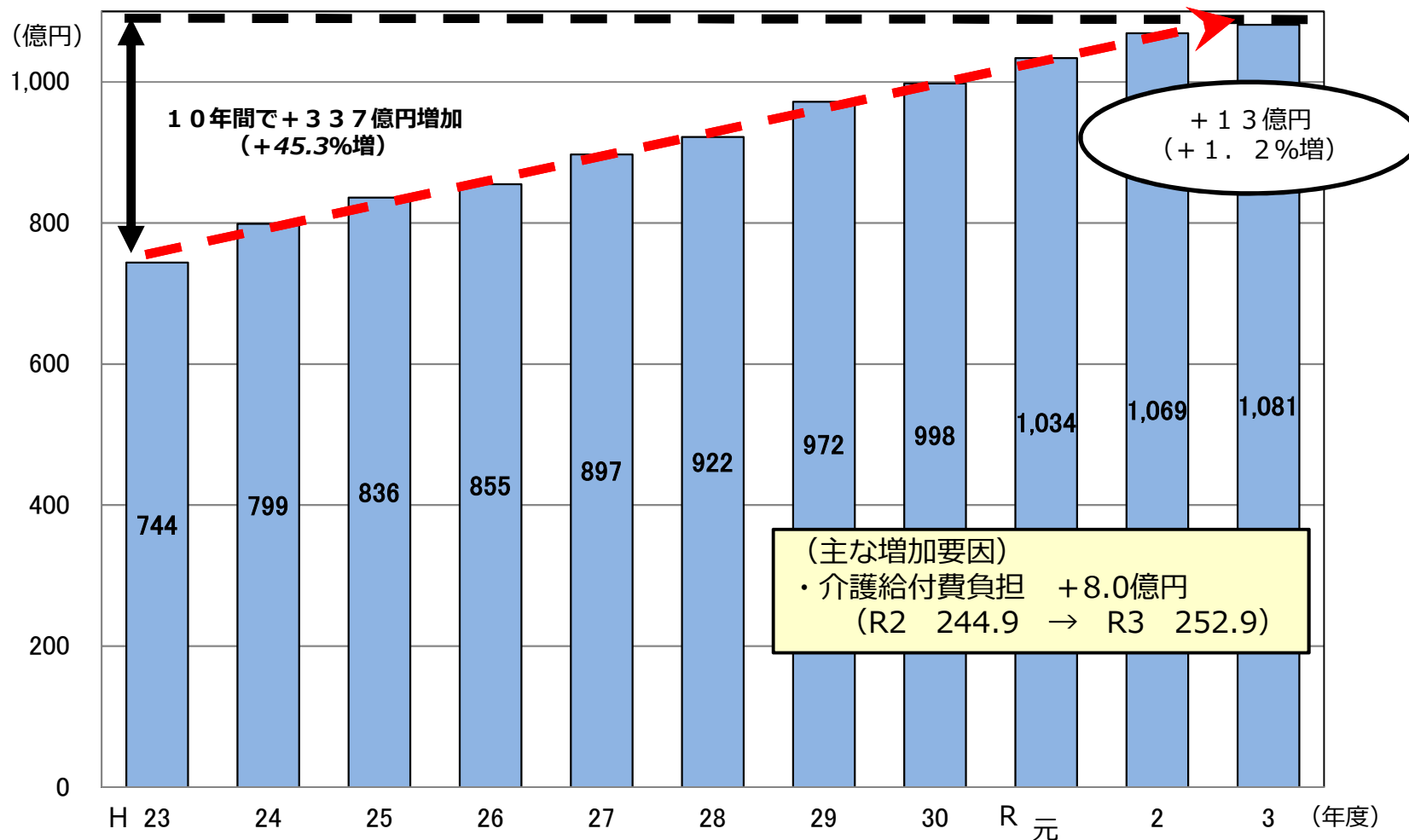
- ・ 厳しい財政状況を踏まえて投資的経費を抑制し、臨時財政対策債を除いた県債発行額を減少させたことにより、実質的なプライマリーバランスは黒字を確保。

(歳入 - 県債) - (歳出 - 公債費)



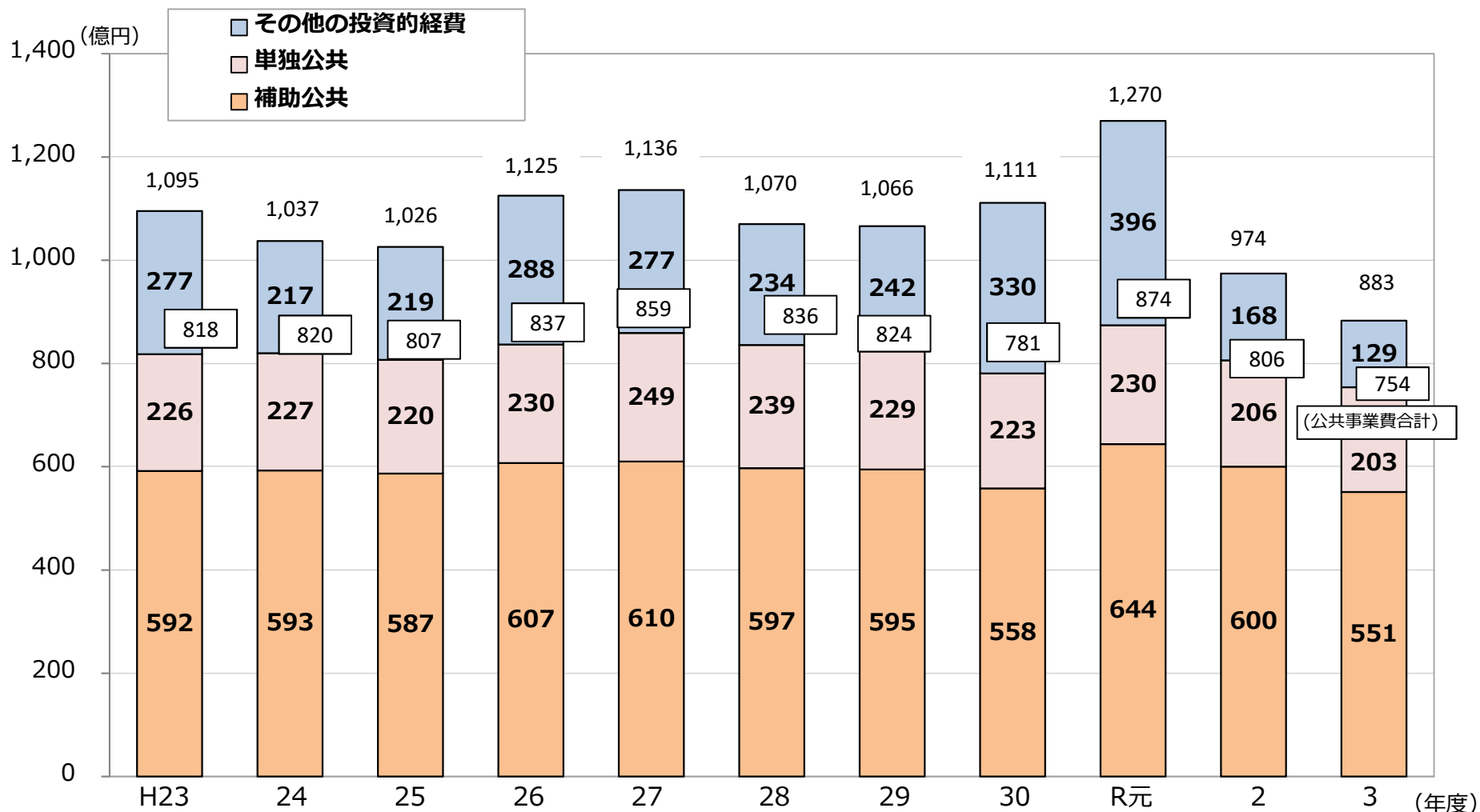
# 社会保障関係費の推移

- ・ 少子高齢化の進展、幼児教育無償化などの影響により、社会保障関係の支出が大きく増。
- ・ 10年前の平成23年度と比べて、約1.5倍の高い水準。



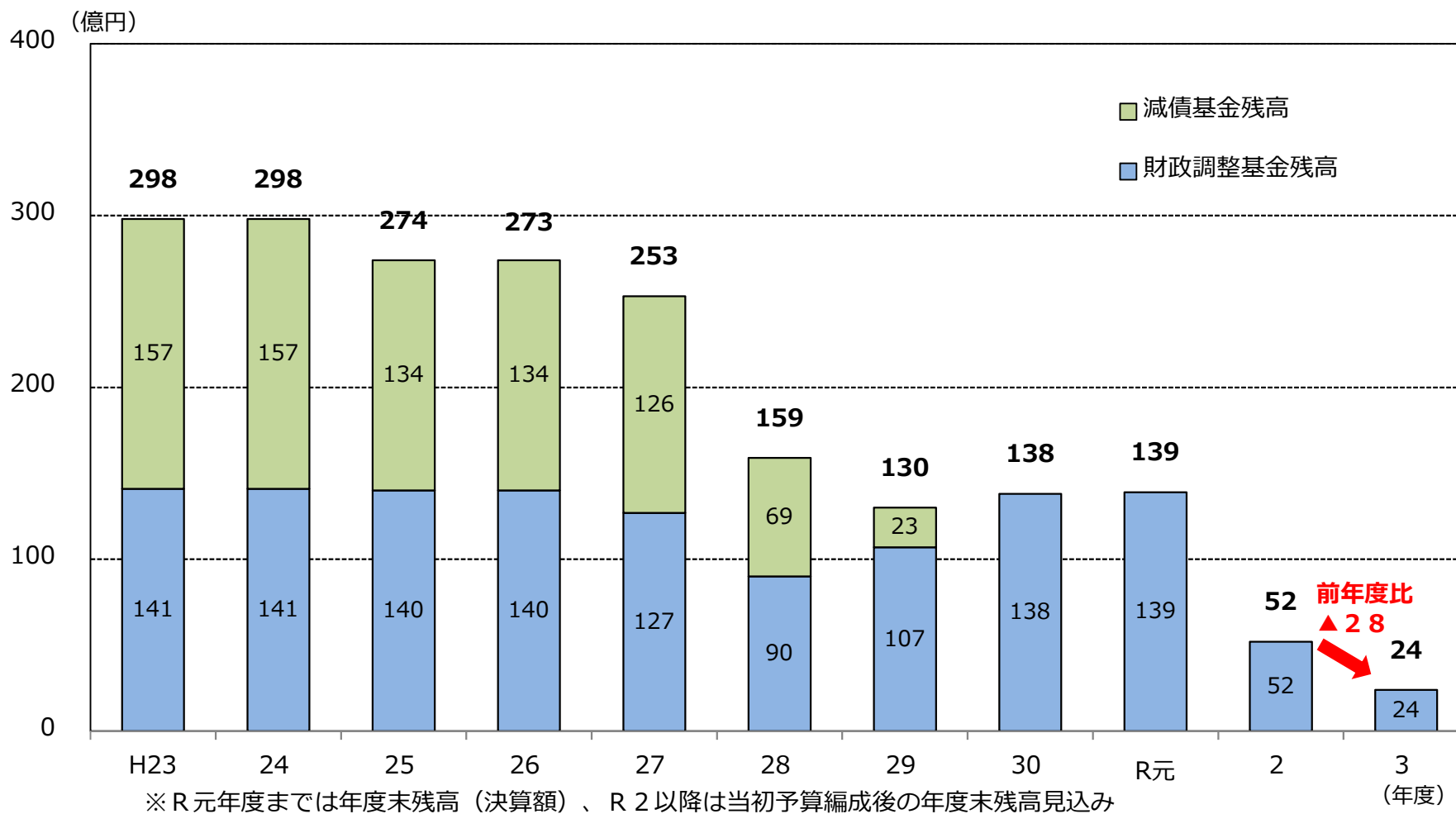
# 公共事業費・投資的経費の推移

・新型コロナウイルス感染症の影響による税収減など、厳しい財政状況を踏まえて公共事業費は抑制しながらも、防災・減災対策については、重点的に予算を確保。



# 積立基金の状況

- ・ コロナの影響により財源不足額が拡大し、財源対策として財政調整基金を取り崩したため、当初予算編成後の基金残高は▲ 28億円の減。
- ・ なお、H30、R元の当初予算編成後の基金残高はそれぞれ11億円、15億円であり、それと比較すると残高は確保できている。





# 令和3年度組織改正

## 行政・産業のDXを集中的に推進する体制整備

- ・ 知事の下にDX推進を統括する

**デジタルトランスフォーメーション推進監**（部長級）を新設

- ・ デジタルトランスフォーメーション課に**DX戦略室**を、

業務プロセス改革課に**デジタル基盤室**を新設

- ・ 各部局に**DX推進責任者**（各部局長）、**DX担当係**を設置

※DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用した変革

## 市町村との連携強化を図る体制整備

- ・ 県内**全域に振興局**を設置（7振興局 + 4行政県税事務所 → 9振興局）

- ・ 地域創生部に**副部長（地域連携担当）**、地域創生課に**地域連携主監**を新設

## 健康福祉部の体制強化

- ・ **健康長寿社会づくり推進課**を新設

- ・ 保健予防課を**感染症・がん疾病対策課**に改組